

安全データシート(S D S)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	再生NPB
会社名	京葉ケミカル株式会社
住所	千葉県白井市名内 324-19
電話番号	047-491-7609
FAX 番号	047-491-7625
緊急連絡先	047-491-7609

2. 危険有害性の要約
GHS分類

健康有害性	急性毒性(経口)区分 5 皮膚腐食性及び皮膚刺激性区分 2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性区分 2 生殖毒性区分 2 特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分 2(血液) 特定標的臓器毒性(単回ばく露)区分 3(麻酔作用気道刺激性)
環境有害性	水生環境有害性(急性)区分 3 水生環境有害性(慢性)区分 3

上記で記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外か分類できない。
GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	H303 飲み込むと有害のおそれ H315 皮膚刺激 H319 強い眼刺激 H335 呼吸器への刺激のおそれ H336 眠気及びめまいのおそれ H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い H371 血液の障害のおそれ H412 長期的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

- ・使用前に取扱説明書入手すること。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・眼、皮膚、衣類につけないこと。
- ・取扱後は手をよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

応急措置

- ・飲み込んだ場合:気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・口をすすぐこと。

2. 危険有害性の要約(続き)
注意書き

応急措置

- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
- ・眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
- ・呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。

保管

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

- ・内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	濃度（重量%）	化学特性	化審法番号 主な適用法令	CAS番号
			(2) -73 P R T R法(第1種)	
n-プロピルブロマイド	95%以上	CH ₃ CH ₂ CH ₂ Br		106-94-5
添加剤（非公開）	非公開	非公開	非公開	非公開

n-プロピルブロマイド⇒別名：1-ブロモプロパン、臭化プロピル

4. 応急措置

吸入した場合

呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

噴霧水、一般の泡消火剤、粉末消火剤、乾燥砂、二酸化炭素

特有の危険有害性

加熱分解によって有毒ガス(HBr、CO、CO₂等)が発生するので注意する。

特有の消火方法

自然性がないので火災は起らないが、特殊条件下で発生した場合は次の対応をする。
消火作業は必ず保護具を着用して風上から行なう。
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具および緊急措置

関係者以外の立入りを禁止する。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に対する注意事項
回収・中和

風上に留まる。
密閉された場所は換気する。
濃厚な排液は、下水溝、河川等に排出してはいけない。
少量の場合は、化学吸収剤に吸着させるかウェスで拭き取る。
回収したものを焼却処分する際は、有毒なガスが発生するので注意する。
多量の場合、漏洩した液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、密閉できるドラム缶等に回収し、吸収剤で処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

局所排気・全体換気
安全取扱い注意事項

情報なし。
保護具は8.暴露防止措置参照のこと。
ミストを吸入したり、液が眼、皮膚及び衣類に触れないように注意し、適切な保護具を着用して、できるだけ暴露を避けるよう努めること。
取扱いの都度容器は密閉する。
使用済み空容器は一定の場所を定めて集積する。

保管

技術的対策
保管条件

情報なし。
容器は密栓して保管すること。
高温多湿、直射日光を避け、換気の良い涼しい場所で保管すること。
有機物であるため、酸化性物質、アルカリ金属、アルカリ土類金属及びアルカリ性物質と離して保管する。
施錠して保管すること。
弊社より供給した容器を使用すること。
国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

容器包装材料

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

化学名	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度 (産衛学会)	ACGIH
n-プロピルブロマイド	—	0.5ppm	TWA 0.1ppm

設備対策

屋内で取り扱う場合は、全体排気が可能な構造にするか局所排気装置を設置する。
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

ゴム手袋等。

眼の保護具

保護メガネ等。

皮膚及び身体の保護具

保護衣、ゴム製長靴等。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。
定期的に作業環境(暴露)濃度測定を実施し許容濃度以下にする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状 色 臭い pH	液体 無色～黄色 あり 4～7（測定条件あり） イオン交換水と 1:1 で振り混ぜ、二層に分離後水層の pH を測定する。
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		71° C
引火点		引火せず
燃焼又は爆発範囲の上限・下限		4.1～6.9Vol%
蒸気圧		18.4KPA (25° C) (138mmHg)
蒸気密度		情報なし
比重(相対密度)		1.33～1.35 (25° C)
溶解性		023wt% (18° C) アル、エタノールに可溶
自然発火温度		4900C
分解温度		情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の手扱い条件では安定である。
この製品の蒸気が、裸火や赤熱物体等の高温にさらされると発火する危険性がある。
また熱分解によって有害物(HBr、CO、CO₂)を生成するので注意する。

危険有害反応可能性

有機物であるため、酸化性物質と接触すると、発火、爆発の危険性がある。
アルカリ金属、アルカリ土類金属及びアルカリ性物質との混触により、発熱を伴う非常に激しい反応を起こすことがある。
水分が存在すると加水分解が起こり、臭化水素が発生して、金属を腐食することがある。

11. 有害性情報

急性毒性

類推値
経口

経口 LD50 4,515 mg/kg
混合物の急性毒性推定値が 4 5 1 5 m g / k g のため急性毒性(経口)一区分 5 とした。

皮膚腐食性／刺激性

刺激性はないが、繰り返し接触すると脂肪分が失われて乾燥し、鱗状又はひび割れを生ずる。

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性
生殖毒性

高濃度の蒸気は眼を刺激する。
ラットを用いた生殖発生毒性試験において、精子検査で精子の運動機能の低下、精子数の減少および形態異常が認められ、交配及び妊娠の観察では着床率や産児数の減少が認められた。

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

最大無影響量:375ppm
吸入した際に、眼、気道が刺激される。
中枢神経系に影響を与え、意識を喪失する事があるとの記載がある。

特定標的臓器/全身毒性
(反復暴露)

暴露濃度 8 2 1 ± 3 8、4 1 2 ± 2 4、2 0 8 ± 15ppm で、一日 8 時間、週 7 日 12 週間(GLP による OECD 基準外)ラットによる暴露試験を行った。
四肢の握力は暴露を続けるに伴って量依存的に減少した。
尾の運動神経伝導速度、遠位潜時は、8 0 0 p p m で各々有意に減少、増加した。
精子数、運動精子は 400ppm 以上で有意に減少した。
2 0 0 p p m では、精嚢重量が有意に低下した。

<p>1 2. 環境影響情報</p> <p>生態毒性</p> <p>残留性/分解性</p> <p>その他</p>	<p>n-プロピル ブロマイドとして</p>	<p>魚類 ニジマス LC50:24.3mg/L(96H)</p> <p>甲殻類 オオミジンコ EC50:99.3mg/L(48H)</p> <p>藻類 セレナストラム ErC50:72.3mg/L(96H)</p> <p>難分解性であるが濃縮性がない、又は低いと判断される。</p> <p>オゾン破壊係数:0.02~0.10(C F C-11=1)</p>
<p>1 3. 廃棄上の注意</p> <p>残余廃棄物</p> <p>汚染容器及び包装</p>	<p>処分方法</p>	<p>ウェス等に吸着させたものを焼却処分する場合、有害な HBr ガスが発生するので注意すること。</p> <p>廃棄にあたっては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係法令の定めるところに従い、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に処分を委託して収集、運搬、廃棄を行わなければならない。</p> <p>容器は清浄し、洗浄後の廃液は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p> <p>洗浄後の空容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に処理を委託する。</p>
<p>1 4. 輸送上の注意</p> <p>国際規制</p> <p>国内規制 備考</p>	<p>国連分類 国連番号</p>	<p>該当しない</p> <p>該当しない</p> <p>該当しない</p> <p>1-ブロモプロパンは危規則では国連番号 2344(引火性液体)に指定されているが、消防法に基づいた確認試験で引火性は認められなかった。</p>
<p>1 5. 適用法令</p> <p>毒物及び劇物取締法 労働安全衛生法</p> <p>化学物質排出把握管理 促進法(P R T R法)</p> <p>消防法 化審法</p>		<p>該当しない</p> <p>名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)</p> <p>第 1 種指定化学物質(法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1)</p> <p>該当しない</p> <p>第 2 種監視化学物質(法第 2 条第 5 項)</p> <p>1-ブロモプロパン</p>
<p>1 6. その他の情報</p> <p>参考文献</p> <p>その他</p>		<p>原料メーカーの安全データシート</p> <p>◆お願い◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に基づき日本の法規制に準拠して作成されたものであり日本以外の国の規制を満たすものではありません。 ・SDS の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ危険有害性の評価は必ずしも十分ではなく、安全性を保証するものではありません。 ・また含有量、物理的及び化学的性質等の値は、保証値ではありません。 ・この SDS は、新しい情報、知見、試験などにより、予告なく改訂することがあります。 ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。 ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださいますようお願い申し上げます。